

知っていますか?!

南アルプスの

ニホンジカ



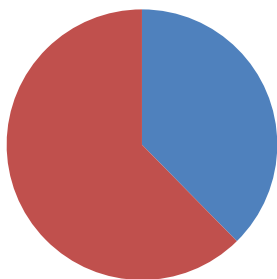
# はじめに

登山を楽しむ方たちが、南アルプスの美しい高山植物や森林をこれからも楽しむために、知ってほしいことがあります。

今、南アルプスの自然がニホンジカに蝕まれています。少し目をこらすと、ニホンジカの影響がそこかしこに見られています。

ニホンジカによる影響の実態を知って頂き、一緒に考えていただければ幸いです。

## 北岳周辺で シカの影響があることを



■ 知っていた  
■ 知らなかった

・2013年、広河原において、登山を終えて帰路のバスを待っている登山者を対象にしたアンケート調査  
(299件 の回答)

長池 (2016 保全生態学研究)

# 目次

- 1. ニホンジカの基礎知識 . . . . . 4
- 2. 南アルプスのニホンジカ . . . . . 6
- 3. ニホンジカへの対策 . . . . . 11
- 4. これから必要なこと . . . . . 14
- 5. アルバム . . . . . 15



# 1. ニホンジカの基礎知識

## ニホンジカ分布域(メッシュ数)

自然環境保全基礎調査

- 1978年のみ確認(70)
- 1978年と2003年の両方で確認(3926)
- 2003年に新たに確認(3407)

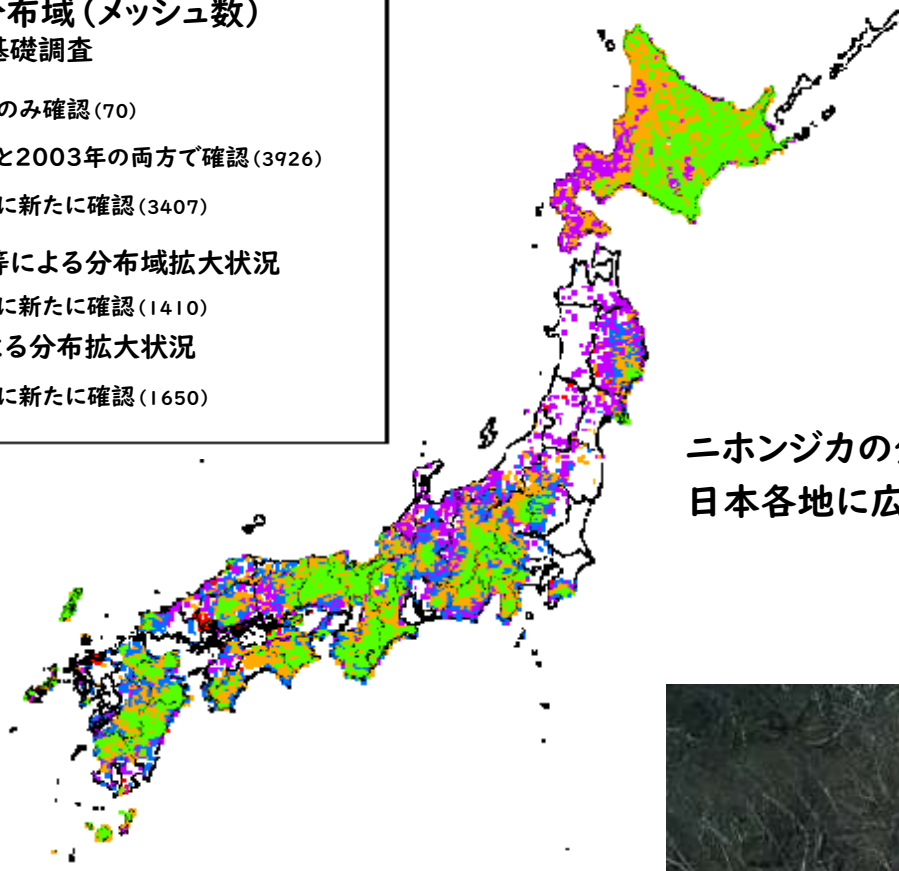
捕獲位置情報等による分布域拡大状況

- 2011年に新たに確認(1410)

目撃情報等による分布拡大状況

- 2014年に新たに確認(1650)

環境省 2015



ニホンジカの分布域が  
日本各地に広がっています。



夏毛のメス(北岳)



冬毛のオス  
(北岳)

## 【ニホンジカとは?】

偶蹄目シカ科、植物食。体長は100~170cm、体重は40~100kg程度。

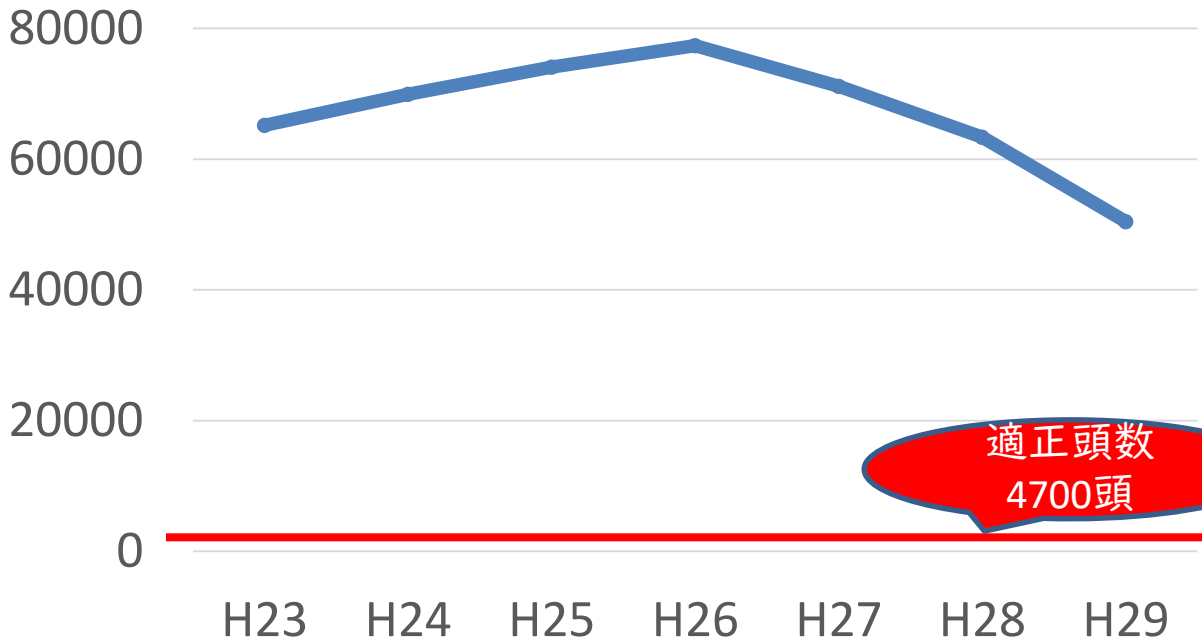
春から夏にかけての体毛色は赤茶色に鹿の子模様と呼ばれる白の斑点が入る。秋になるとこげ茶色に生え変わる。尻にはまとまった白い毛がある。

角はオスにしかなく1年に1度、春に落ちて生え変わる。

交尾期は秋で、約7カ月の妊娠期間を経て1頭を出産する。

# 山梨県のニホンジカは減少傾向ですが、依然多いです

ニホンジカ推定個体数（山梨）



## なぜニホンジカは増えているのでしょうか？

主な理由としては

・冬が厳しくなくなった

→初夏に生まれた子供は冬を越せば母親に

・狩猟者が減少した

・天敵がいなくなった

気候変動

高齢化・生活変化

オオカミの絶滅

## 2. 南アルプスのニホンジカ

これまでいなかった高山にまで登っています



北岳山荘(2900m)

中白峰途中から北岳山荘方面



28頭!

20150721 廣瀬和弘氏撮影



13頭!

20180712

# 高山植物を 食べ、踏み付けています



20180621 シナノキンバイ(北岳2700m)



20180713 ミソガワソウ(北岳2250m)



北岳右俣



20180621 北岳草すべり

植生がなくなり  
土壌浸食が  
起きています



農鳥小屋水場



塩見岳 土壌流出防止伏工



# 植生への摂食がひどくなっています

2008



2008年にはなかった  
ランクA(激害)が、  
2015年以降、北岳山  
荘下に出現

2019



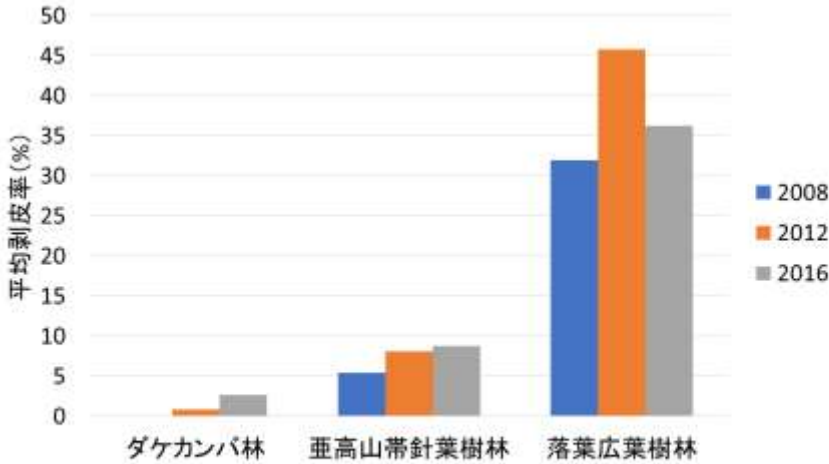
- ランクA: ● 激
- ランクB: ● 中
- ランクC: ● 軽
- ランクD: ● 無

被害の有無	ランク	区分の考え方	補記
シカの植生への被害がある	A	シカの食害・踏み跡が植生に甚大な被害を与えている	群落の消失が危惧
	B	大きな被害は及んでいないが、食害等の被害がある	容易に生息痕跡が見られる
	C	食害等が認められるが、影響は心配ない程度	生息痕跡はある
シカの植生への被害がない	D	被害がない。あってもほとんど気にならない	シカの形跡がない、または少しある

(中部森林管理局,2007を改変)

# 樹木への剥皮もひどくなっています

## ・北岳 草すべり～大門沢



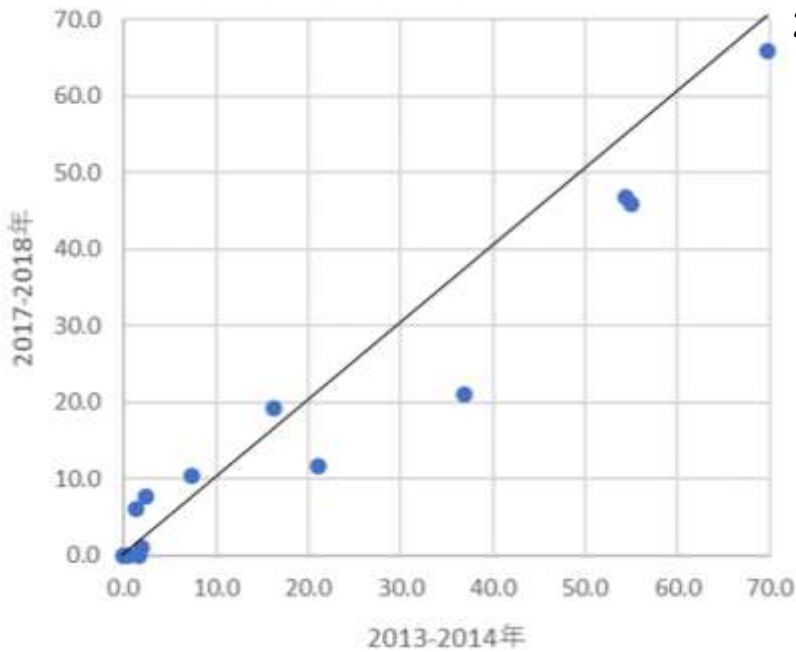
平均標高 8林分 2537m      8林分 2240m      3林分 1631m      10×40m 胸高直径3cm以上を対象



20130730 ダケカンバ林

## ・鳳凰三山

### 剥皮率の変化



20171031



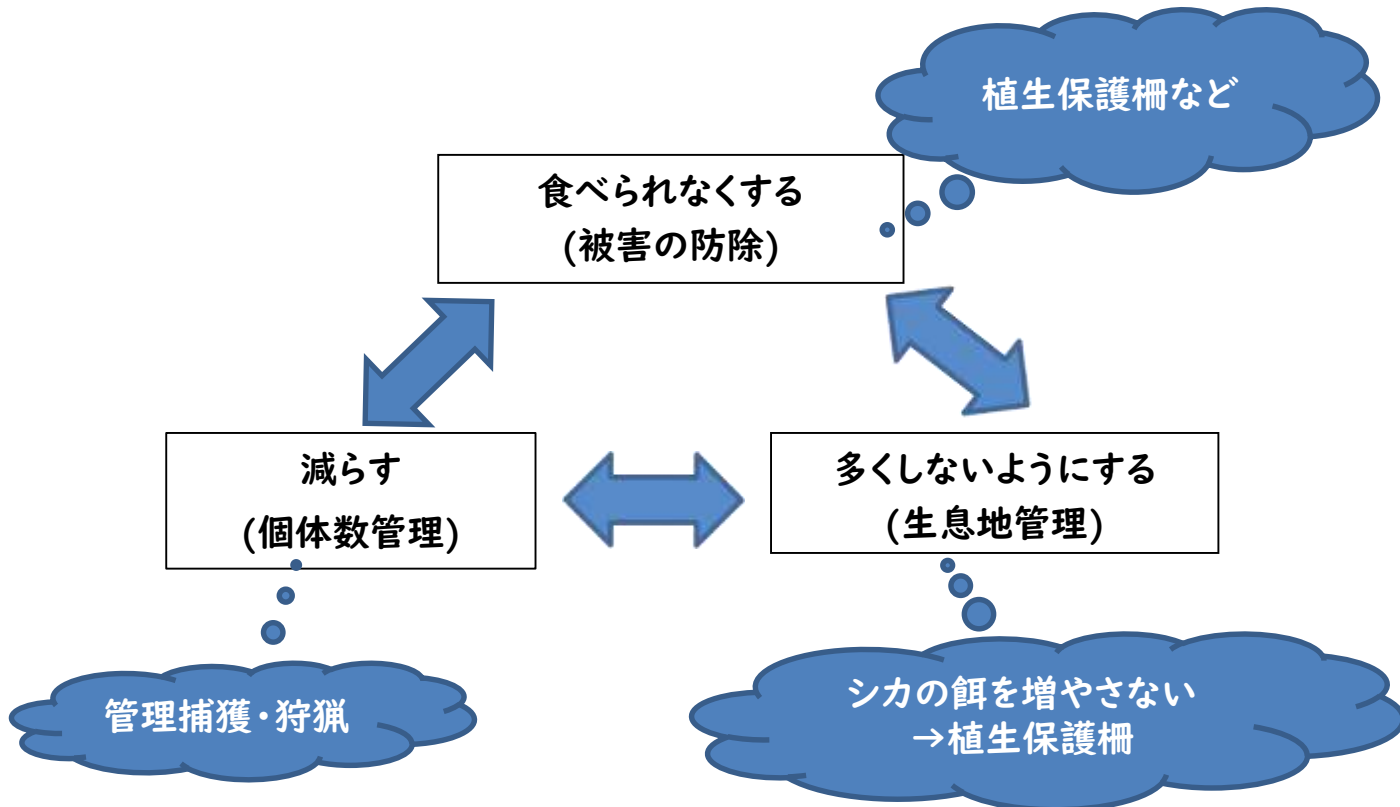
20170616 亜高山帯針葉樹林



20080924 落葉広葉樹林

### 3. ニホンジカへの対策

ニホンジカによる影響をどのように減らすか？



「食べられなくする」「減らす」「多くしないようにする」を  
一体で考えることが重要です。

南アルプスでの取り組み

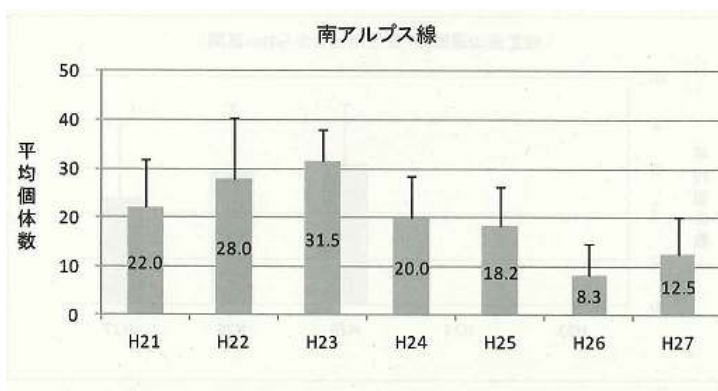
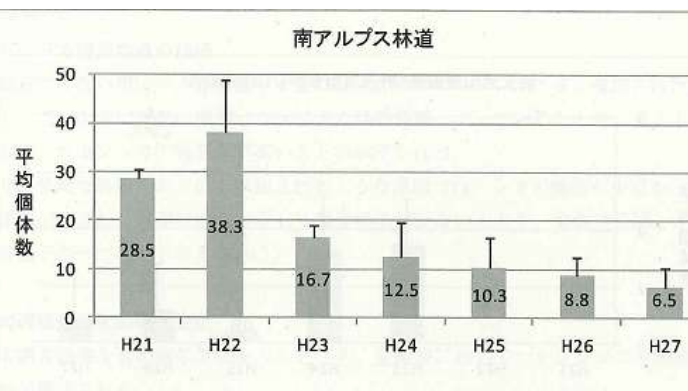
- \*冬期の捕獲
- \*植生保護柵の設置
- \*高山帯での捕獲試行
- \*モニタリング 等

- 南アルプスユネスコエコパークの管理運営組織である「南アルプス自然環境保全活用連携協議会」に設置されている「ニホンジカ対策ワーキンググループ」で南アルプスのニホンジカ対策に取り組んでいます。
- 山梨県では、「第2期山梨県第二種特定鳥獣(ニホンジカ)管理計画」において、平成24年度末時点で推定された69,917頭を、平成35年までに半減させることを目標として対策しています。

## \* 冬期の捕獲（山梨県・環境省）

標高1500m付近までの県営林道南アルプス線、県道南アルプス公園線沿いで、捕獲を行っています。

その結果、林道周辺のニホンジカ目撃個体数は減少しています。



環境省関東地方環境事務所 2016



## \* 植生保護柵の設置（環境省）



食べられなければ花は咲く。  
しかし、  
柵の外は摂食され続ける・・・

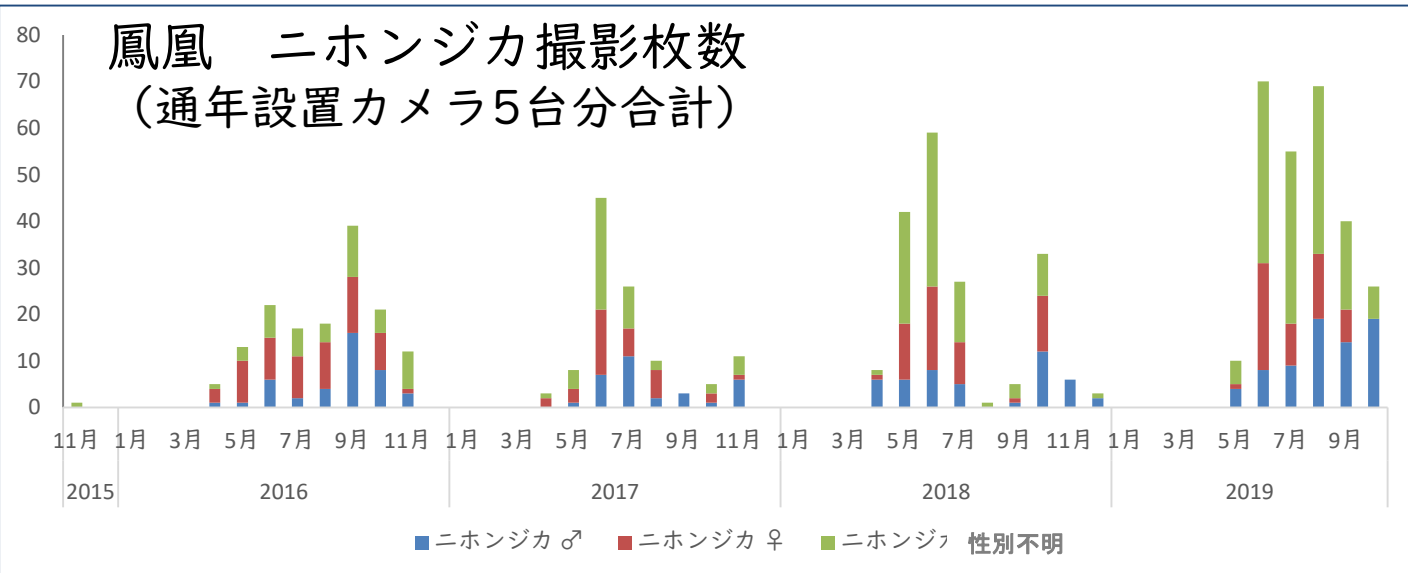
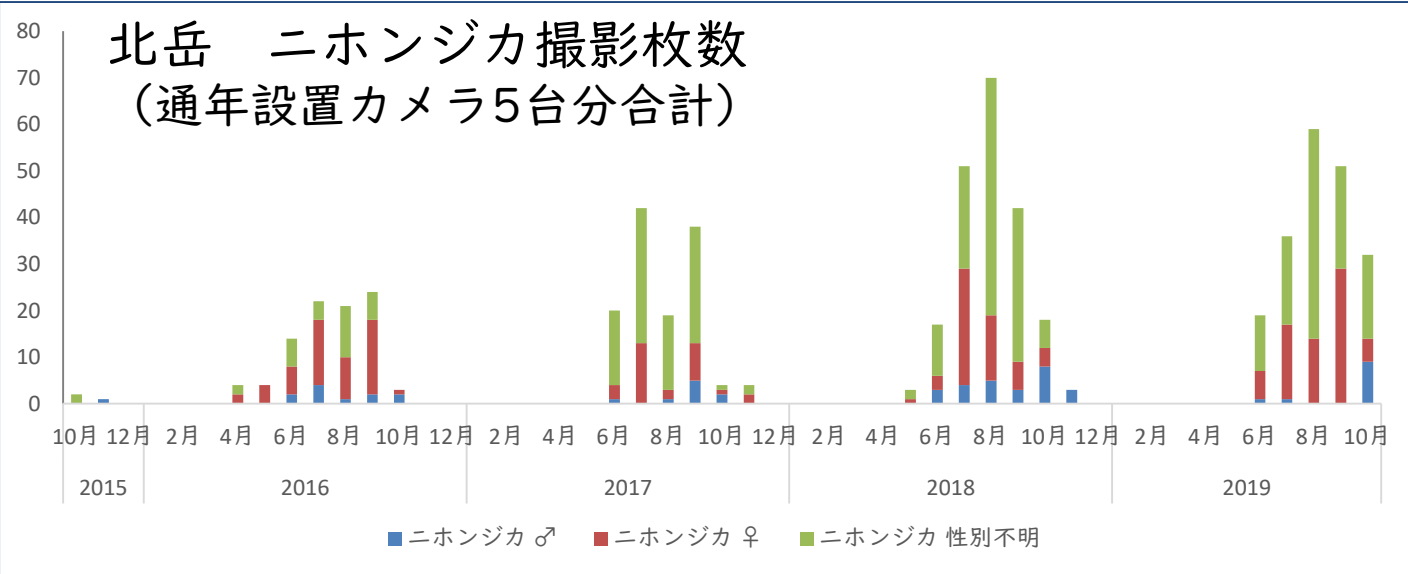
北岳 草すべりの植生保護柵



キタダケソウ防鹿柵  
(キタダケソウはまだ食べられていないが予防的に設置している)

# \*モニタリング

赤外線センサーによる自動撮影カメラを設置し、いつどこにニホンジカが多いのかを調査しています。



山梨県森林研(未発表)



## 4. これから必要なこと

豊かな高山植物と森林にめぐまれた素晴らしい南アルプス。登山者がこれからもこの環境を楽しむためには、ニホンジカに対する対策が必要です。

ニホンジカによる影響を減らすためには、効果的・効率的な対策を進める必要があります。

応援して下さい。

友達に伝える、活動に参加するなど、登山を楽しむ方だからこそ出来ることがあります。



## 5. アルバム

### 北岳・鳳凰三山・北沢峠の センサーカメラに映った動物たち



ニホンジカ (北岳 8月)



ツキノワグマ  
(北岳 7月)



ツキノワグマ (北岳 9月)





ホンドテン(北岳 8月)



ホンドテン(鳳凰 5月)



ホンドテン(鳳凰 7月)

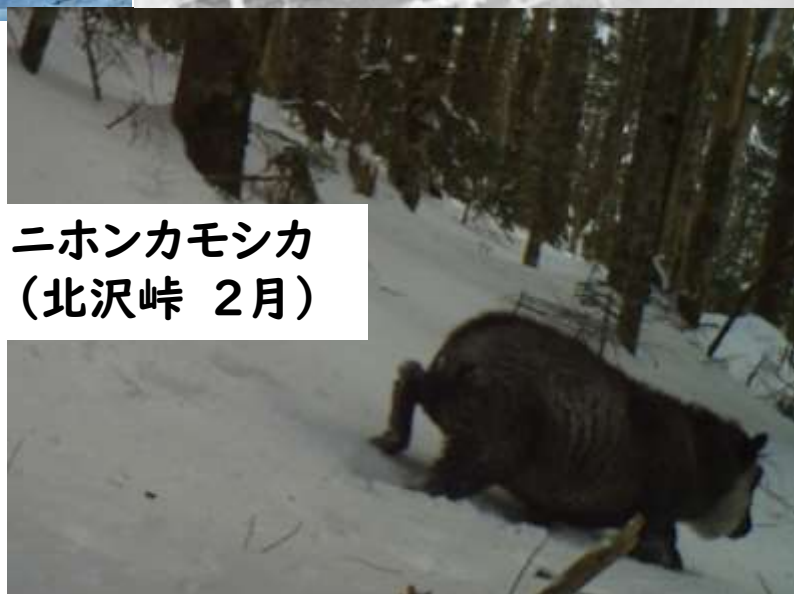
ニホンカモシカ (北岳 5月)



ニホンカモシカ (北岳 12月)



ニホンカモシカ  
(北沢峠 2月)



ニホンカモシカ (鳳凰 5月)

ノウサギ(北岳 7月)



ノウサギ(鳳凰 1月)



ニホンリス(北岳 10月)



ニホンリス(鳳凰 7月)



ホンドギツネ(北岳 6月)



ホンドギツネ(鳳凰 8月)

ホンドギツネ(北岳 6月)



ムササビ(北岳 6月)



ムササビ(北岳 5月)



ニホンザル(北岳 6月)



アナグマ(北岳 5月)



アナグマ(鳳凰 7月)



オコジョ(北岳 10月)

タヌキ(北沢峠 7月)



ヤマネ(北岳 8月)



ヤマドリ(鳳凰 9月)



ホシガラス(北岳 8月)

2017年7月作成(2020年2月増訂)

山梨県森林総合研究所

南巨摩郡富士川町最勝寺2290-1

Tel: 0556-22-8001

E-mail: shinsouken@pref.yamanashi.lg.jp.

担当 長池卓男・荒川史子

この資料は、山梨県総合理工学研究機構研究課題「南アルプスにおけるニホンジカによる高山植物への影響と保護対策および個体数管理に関する研究(H23-25)」、三井物産環境基金研究助成「『高山に登るニホンジカ』にどのように対処するか(H25-27)」、日本学術振興会科学研究費補助金「気候変動下での樹木分布移動に及ぼす人工林とニホンジカの影響の解明(H28-31)」による結果の一部です。